

知多半島の自然と、原始・



知多半島丘陵地帯の湿地に生きる動・植物を本物そっくり再現したジオラマ



西の宮貝塚出土人骨



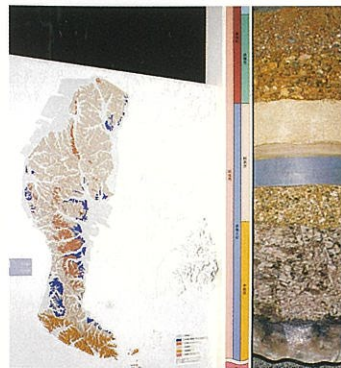
楽しく学ぶ学習テーブル



りゅうごし
龍骨車
(中国から伝来した灌漑
用揚水機)

古代から近代までの歩み。

■ 主な展示内容
知多半島の自然
縄文遺跡からの出土品
海に生きる人々
新田開発と農具
近代産業の発達
戦時下の暮らし



地層の柱状模型



十一面観世音菩薩像(複製)



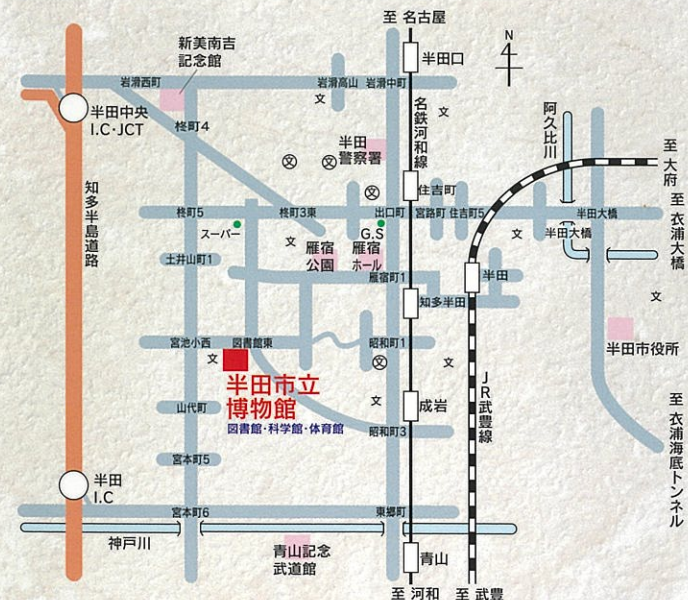
ダンベ船(模型)



近代・現代展示コーナーの様子



半田の歴史と文化財・半田ゆかりの文化人が一目でわかる導入展示室



- 名鉄河和線知多半田駅から徒歩で20分
● 名鉄河和線成岩駅から徒歩で15分
● 知多半島道路 半田I.C.から車で5分
● 知多半島道路 半田中央I.C・JCTから車で10分



半田市立博物館

開館時間/午前10時～午後6時
休館日/月曜日・(祝日の際には開館、ただし翌日が休館)、年末年始
入館料/無料
H P /<http://www.city.handa.lg.jp/contents/hakubutukann.html>
所在地/〒475-0928 半田市桐ヶ丘4-209-1
TEL/0569-23-7173
FAX/0569-23-7174
Eメール/hkbutsu@city.handa.lg.jp



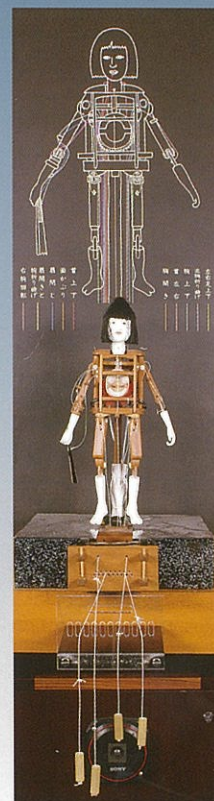
■ 常設展示室Ⅱ 江戸時代から受け継がれた祭礼の歴史。

半田市内にある31台の山車を交替に展示します。
実物の山車を目の前にして、その堂々たる姿をじっくりとご覧ください。



亀崎石橋組 青龍車

まつりと文化。
熱い思いも代々受け継がれています。



上半田ちんとう祭り・子供三番叟

山車祭りと伝統芸能

半田の春は山車祭りから始まります。
毎年3月下旬の乙川地区の祭礼から始まって、
5月の亀崎潮干祭で幕を閉じます。
山車は精緻な彫刻、豪華な幕等で飾られています。

自分の手で操れる
からくり人形。
亀崎中切組力神車前山
からくり人形「狸々」

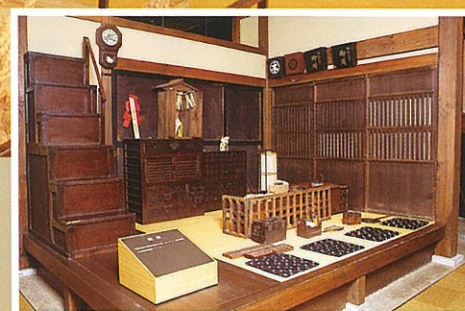
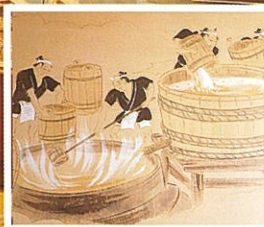


祭礼絵図(一部) 宝歴5年(1755年)



岩滑新田平井組 神明車壇箱「神武東征」

■ 常設展示室Ⅲ 「酢」と育つ町、半田。伝統の酢造りを再現。



明治時代の商家の店先



「かす倉」から「仕込」、「貯蔵」、「荷造り」に
至るまで、いくつもの段階を踏む酢造り。
模型は30分の1の大きさです。

酢醸造の民俗資料を紹介

半田は近世以降醸造の町として栄え、酢醸造は酒造業と密接
な関係を保ち発展しました。館内には、酢醸造の歴史的な郷土
資料を展示し、伝統の酢造りを再現してあります。